

○事業所名	7th Sense 烏丸御池（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年3月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の意思決定支援	レッスンのプログラムに関して、可能な範囲で取組方法や取組の順番など利用児童本人が決めることができるよう、コミュニケーションを取っています。その際、『気持ちは変わることがある』という前提に立って支援を行っています。支援計画にも、利用児童本人がレッスンで行いたいことをできる限り本人に確認し、記載をしています。	自らの意思を言葉で表現することが難しい利用児童に対しては、気持ちを代弁したり、イラストカード等で気持ちを表現できるよう支援を強化してまいります。
2	職員の専門性	様々なバックグラウンドを持った職員が今までの経験を活かすだけでなく、子どもから大人への発達段階、応用行動分析や交流分析、感覚統合ができる時期としては、就学前までが特に大切であり、課題図書を決めて読み合わせ等実施しています。	職員が研修で学んだ内容を療育だけでなく、日々の生活にも生かせるような視点を持って療育を行えるよう努めてまいります。
3	療育内容のバリエーション	自社教材をはじめとした、数多くの教材・教具を活用して療育を行っております。同じ教材を使っている、利用児童の発達段階及びその日の状況に応じて使い方を変えることもあります。	利用児童の「もっとやってみたい」という気持ちを引き出せるような関わりを継続して行ってまいります。また一方でうまく行かないときにも「そういうことがあっても大丈夫。また次にチャレンジしよう」という折れない心を育めるような関わりも継続して行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る取組の実施について	療育のフィードバックは療育内容に関することが多く、家族の対応についてのお話をさせていただく時間の確保は不十分と感じています。	今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニングの実施を検討したいと考えております。また、今年度から新設しました定員3人のグループレッスンでは、特に「家族支援」に重点を置いた独自プログラムで実施しています。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会については現状実施をしておりません。	漢字検定等で利用日となっている日曜日で、代表による母親教室の実施を予定しています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会について	放課後児童クラブや児童館との交流については、主な支援が個別療育ということもあり、児童同士の交流は難しいと考えています。	左記の交流についても実施の希望がございましたら検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		7th Sense 烏丸御池（児童発達支援）				公表日		2025年3月31日	
		利用児童数				2025年3月1日時点 7名		回収数 7（100%）	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	2	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1		1		保護者との面談、レッスンでの児童の様子や職員間での情報共有を踏まえて計画を作成しております。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0	0	0			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0		レッスン中の児童の様子を観察し、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組内容のバリエーションを増やせるように研修も行っております。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	4	1	交流はないが特に交流を必要としていないので問題はありません。	現在交流の実施の予定はございません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0		契約時、報酬改定時に適切にご説明し、ご理解いただけるように努めます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	2	2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	0	0		今後も報告書作成・フィードバックには力を入れて参ります。 面談の機会を適切に設けますと共に、気軽ににご相談いただける雰囲気づくりに努めて参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	1	0	母親の子供への接し方について、あるスタッフの方から、十分な根拠のないままに否定的な言葉で断定され、とても不快でした。言葉の使い方にはもっと慎重になるべきだと思います。	ご不快なお気持ちにさせてしまったことを真摯に受け止め、スタッフ全員に保護者様への丁寧な説明、そして、誤解を招く表現がなかったか、今一度、会議の中でも話をいたしました。こうしたご指摘を今後、いただくことがないよう意識いたします。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	2	2		小集団療育を希望者に実施し、保護者同士の学び合いの機会を確保しました。通所児のご兄弟のご相談につきましても随時対応や助言を行っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	2		苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	2		ホームページや保護者LINE等で積極的に活動に関する発信や案内を行って参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	2	0	1		各種マニュアルは作成し、職員には周知しておりますが保護者への周知は不十分ですので、今後周知していけるように準備をして参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	1	2		職員による避難訓練は年2回実施をしています。また、3月には地震の際の安全確保訓練のシェイクアウト訓練を全クラスで実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	とても楽しみに通っておりありがたいです。	「楽しみに通っている」というお言葉は私達職員の何よりの励みになります。今後も尽力します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		7th Sense 烏丸御池（児童発達支援）					公表日	2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広さはそれぞれ違い、発達段階や支援内容、状況により使い分けています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			より効果的な支援を行うためにも配置について考えていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリーになっております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月に2回定期的に会議を開いております。	職員での情報共有、人権、緊急時等の研修を行い、深めていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議において情報共有を行い、保護者等の意向等を把握に努めています。	前回の評価結果を参考に行いました。引き続き継続して参ります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝職員朝礼を実施し、職員の意見把握や業務改善に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在のところ第三者評価の実施の予定はございません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修費の補助、内部研修の際、情報共有を行い、資質の向上に努めております。	内部研修の機会を増やし、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		入所前にアセスメントシートを書いていただいたり、発達検査、子ども、保護者のご意見を基に作成しております。	面談等で得た情報を常に更新をしていき、支援に活用して参ります。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を開催し、支援に関わる職員と共に支援計画を検討しております。新規ご利用児に関しては、体験レッスンを担当した支援員と共に初期アセスメントと照らし合わせ支援計画を作成しております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援員は事前に個別支援計画を確認の元、当日の療育内容を構成しております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数の担当の指導員より情報共有を行い、内容を検討しております。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の様子を観察して、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組のバリエーションを増やすための研修も実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		平素の個別療育だけでなく、小集団療育を希望者に実施しました。	個別療育枠だけでなく、集団療育枠を増設し、幅広いニーズに対応して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			今後、積極的に参加をしていきたいと考えております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		初期アセスメント時や定期面談時に、ご利用児やご家族のご意向を伺っております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		小集団療育を希望者に実施し、保護者同士の学び合いの機会を確保しました。通所児のご兄弟のご相談につきましても随時対応や助言を行っております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて、随時行っております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページや保護者INE等で積極的に活動に関する発信や案内を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		レッスン中は子どもの発達やコミュニケーション手段に応じて意思疎通をはかるように配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しております。保護者からご希望があった際は、お見せしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初期アセスメント時、定期面談時に事業所が把握できるように伺っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		虐待防止の観点からレッスンルームに防犯カメラを設置しております。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	7th Sense 烏丸御池（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年3月10日		～	2025年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年3月10日		～	2025年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の意思決定支援	レッスンのプログラムに関して、可能な範囲で取組方法や取組の順番など利用児童本人が決めることができるよう、コミュニケーションを取っています。その際、『気持ちは変わることがある』という前提に立って支援を行っています。支援計画にも、利用児童本人がレッスンで行いたいことをできる限り本人に確認し、記載をしています。	自らの意思を言葉で表現することが難しい利用児童に対しては、気持ちを代弁したり、イラストカード等で気持ちを表現できるよう支援を強化してまいります。自己表現ができることに手段は様々で言葉、絵画、文章と「得意」が伸ばせるように配慮しています。
2	職員の専門性	様々なバックグラウンドを持った職員が今までの経験を活かすだけでなく、子どもから大人への発達段階、応用行動分析や交流分析、感覚統合、言葉かけのアプローチ等課題図書を決めて読み合わせ等実施しています。	職員が研修で学んだ内容を療育だけでなく、日々の生活にも生かせるような視点を持って療育を行えるよう努めてまいります。
3	療育内容のバリエーション	自社教材をはじめとした、数多くの教材・教具を活用して療育を行っております。同じ教材を使っても、利用児童の発達段階及びその日の状況に応じて使い方等を変えることもあります。	利用児童の「もっとやってみたい」という気持ちを引き出せるような関わりを継続して行ってまいります。また一方でうまく行かないときにも「そういうことがあっても大丈夫。また次にチャレンジしよう」という折れない心を育めるような関わりも継続して行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る取組の実施について	療育のフィードバックは療育内容に関することが多く、家族の対応についてのお話をさせていただく時間の確保は不十分と感じています。	今後、事業所として家族の対応力の向上を図るためにペアレントトレーニングの実施を検討したいと考えております。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会については現状実施をしておりません。	漢字検定等で利用日となっている日曜日で、代表による母親教室の実施を予定しています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について	放課後児童クラブや児童館との交流については、主な支援が個別療育ということもあり、児童同士の交流は難しいと考えています。	左記の交流についても実施の希望がございましたら検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 7th Sense 烏丸御池（放課後等デイサービス）

公表日 2025年3月31日

利用児童数 2025年3月1日時点 50名

回収数 27（54%）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	26	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1	0	5		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0		保護者との面談、レッスンでの児童の様子や職員間での情報共有を踏まえて計画を作成しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	0		レッスン中の児童の様子を観察し、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組内容のバリエーションを増やせるように研修も行っております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	13	9		現在交流の実施の予定はございません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0		契約時、報酬決定時に適切にご説明し、ご理解いただけるように努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	4	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	0		今後も報告書作成・フィードバックには力を入れて参ります。 面談の機会を適切に設けますと共に、気軽にご相談いただける雰囲気づくりに努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	11	9		小集団療育を希望者に実施し、保護者同士の学び合いの機会を確保しました。通所児のご兄弟のご相談につきましても随時対応や助言を行っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	0	2		苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応して参ります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	1	5		ホームページや保護者LINE等で積極的に活動に関する発信や案内を行って参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	8		各種マニュアルは作成し、職員には周知しておりますが保護者への周知は不十分ですので、今後周知していけるように準備をして参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	1	11		職員による避難訓練は年2回実施をしています。また、3月には地震の際の安全確保訓練のシェイクアウト訓練を全クラスで実施しました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	1	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	9		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	最終時間が18:00になったので、学年が上がる、（来年高校生）通いにくいのではと不安になりました。	私達もとても悩んでいる事です。一日の労働時間8時間を遵守し、開所利用時間を決めていくとしても、最後が18:00となってしまいました。民間サービス機関ではありますが、行政の指導の下での機関でもあり、心苦しいところです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	0	0	1	いつも子どもに寄り添って頂いて本当にありがとうございます。人生の苦難に遭遇したときに、人から助けてもらえるということを、彼は7thセンスであらためて学びとったように思います。幼馴染を亡くすという大きな喪失体験をしたときも、7thセンスの先生に吐露できたことも大きな感謝をしています。毎週の7thセンスの時間を楽しみにしていますし、自転車の通学も苦ではないようです。卒業まであと2年。どうぞよろしくお願いいたします。いつも本当にありがとうございます	大変ありがたいお言葉は職員一同、何よりの励みとなる一方、身の引き締まる思いでもあります。これから色々な苦難があっても、折れない心を持ちながら、私達も一緒に歩いて行けたらと願っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		7th Sense 烏丸御池（放課後等デイサービス）					公表日 2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広さはそれぞれ違い、発達段階や支援内容、状況により使い分けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			より効果的な支援を行うためにも配置について考えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリーになっております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に1回定期的に会議を開いております。	職員での情報共有、人権、緊急時等の研修を行い、深めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議において情報共有を行い、保護者等の意向等を把握に努めています。	前回の評価結果を参考に行いました。引き続き継続して参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝職員朝礼を実施し、職員の意見把握や業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在のところ第三者評価の実施の予定はございません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修費の補助、内部研修の際、情報共有を行い、資質の向上に努めております。	内部研修の機会を増やし、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		入所前にアセスメントシートを書いていただいたり、発達検査、子ども、保護者のご意見を基に作成しております。	面談等で得た情報を常に更新をしていき、支援に活用して参ります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を開催し、支援に関わる職員と共に支援計画を検討しております。新規ご利用児に関しては、体験レッスンを担当した支援員と共に初期アセスメントと照らし合わせ支援計画を作成しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援員は事前に個別支援計画を確認の元、当日の療育内容を構成しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数の担当の指導員より情報共有を行い、内容を検討しております。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童の様子を観察して、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組のバリエーションを増やすための研修も実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		平素の個別療育だけでなく、小集団療育を希望者に実施しました。	個別療育枠だけでなく、集団療育枠を増設し、幅広いニーズに対応して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			地域交流に関しては現在はありませんが、個別レッスンにおいて個人のリソースを活かす術やコミュニケーション力をあげるなどの後方支援的な活動は行っています。今後、この点についてもっとどのような工夫が出来るか、検討していく所存です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、積極的に参加をしていきたいと考えております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り積極的に参加をしております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		初期アセスメント時や定期面談時に、ご利用児やご家族のご意向を伺っております。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		小集団療育を希望者に実施し、保護者同士の学び合いの機会を確保しました。通所児のご兄弟のご相談につきましても随時対応や助言を行っております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて、随時行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページや保護者LINE等で積極的に活動に関する発信や案内を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		レッスン中は子どもの発達やコミュニケーション手段に応じて意思疎通をはかるように配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成しております。保護者からご希望があった際は、お見せしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初期アセスメント時、定期面談時に事業所が把握できるようにお伺いしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		虐待防止の観点からレッスンルームに防犯カメラを設置しております。	